

## <世界フェアトレード・デー2010 スピーカーのプロフィール>



### ライハン・アリ（生産者パートナー「タナバラ・スワローズ」代表、バングラデシュ）

バングラデシュ北西部の村で活動する「タナバラ・スワローズ」代表。1971年のパキスタンからの独立戦争の際に男性が皆殺しされたこの村では、通常は男性の仕事である手織りが女性たちの手によってなされている。スワローズでは、草木染めなど環境負荷の低い染料で染められた糸から布を織り、手刺繍をほどこし、縫製を行い、200人以上の女性たちが仕事の機会を得ているほか、300人あまりの貧しい家庭の子もたちが無料で通う小学校や働く女性たちが子どもを預けられる託児所を運営するなど、地域発展のためのさまざまな社会的活動も実施している。



### マーシャ・アウイノ（生産者パートナー「ボンボルル・ワークショップ」海外輸出オフィサー、ケニア）

ケニアの沿岸部モンバサで活動する「ボンボルル・ワークショップ」は、身体に障害をもつ人びとの自立支援を目的にリハビリテーションセンターとして1969年に設立。以来、この作業所では障害をもつ約150人の人びとが仕事やトレーニングの機会を得ており、アクセサリーや木彫り製品、革製品づくり、縫製の仕事で公正な賃金を得ている。また、生産者を対象とした福利厚生プログラムがあり、医療給付制度、施設内に併設された無料住宅、ローンの貸し付けなど充実したプログラムが運営されている。



### 末吉竹二郎（国連環境計画・金融イニシアチブ特別顧問）

三菱銀行（現・三菱東京UFJ銀行）ニューヨーク支店長、取締役を経て、1996年に東京三菱銀行信託会社（NY）頭取、1998年に日興アセットマネジメント副社長に就任。2002年に退任後、2003年に国連環境計画金融イニシアチブ特別顧問に就任。川崎市、鹿児島市のアドバイザーや企業の社外取締役、東京大学大学院非常勤講師などを務めるほか、環境問題やサステナビリティ・CSR分野において、講演や執筆活動を精力的に行っている。



### マエキタミヤコ（東京外国語大学 教員、サステナ代表）

コピーライター、クリエイティブディレクターとして、1997年よりNGOの広告に取り組み、2002年に広告メディアクリエイティブ「サステナ」を設立。「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表幹事。「ほっとけない 世界のまずしさ」キャンペーン2005実行委員。東京外国語大学Peace & Conflict Studies教員。立教大学・上智大学非常勤講師。東北芸術工科大学・京都造形芸術大学客員教授。



### 伊勢崎賢治（東京外国語大学 教授）

早稲田大学院理工学研究科修士課程修了。インドのムンバイ大学留学中、現地のスラム街で住民闘争に加わる。国際NGOの一員としてアフリカ各地で活動後、2000年に東ティモール暫定自治政府の県知事に就任。その後、国連や日本政府の要請を受け、西アフリカ・シエラレオネやアフガニスタンでゲリラの武装解除を指揮する。現在、東京外国語大大学院地域文化研究科教授。主な著書に『東チモール県知事日記』（藤原書店）、『武装解除紛争屋が見た世界』（講談社）など。



### 末吉里花（フリーアナウンサー）

フリーアナウンサー。TBS系『世界ふしぎ発見！』のミステリーハンターほか、オーガニック・コンシェルジュ、オーガニック・ライフ・スタイリストの資格を生かし、司会やレポーターもこなす。フェアトレードや環境問題に取り組む活動にも積極的。著書に『祈る子どもたち』（太田出版）。2010年3月にタナバラ・スワローズを訪問。[www.rikasueyoshi.com](http://www.rikasueyoshi.com)



### サフィア・ミニ（ピープル・ツリー／グローバル・ヴィレッジ代表）

イギリス出身。90年に夫と共に来日。91年、環境・貧困問題に取り組むNGO「グローバル・ヴィレッジ」を日本で創設。93年からフェアトレード商品の輸入を開始し、95年に「フェアトレードカンパニー（株）」を設立。01年にはロンドンに「People Tree Ltd.」を設立。日本とイギリスを往復して業務の指揮をとる。04年「シュワブ財団」により、「世界で最も傑出した社会起業家」のひとりに選出される。08年5月「おしゃれなエコが世界を救う ～ 女社長のフェアトレード奮闘記」（日経BP社）を出版。09年5月「By Hand 世界を変えるフェアトレード・ファッション」（幻冬舎ルネッサンス）を出版。09年6月、イギリス政府より大英帝国勲章第5位（MBE）を受勲。